中國臨時政府

為替管理斷行

する書面を前記為替賣却費 書に貼布すること 整番 品 名 三 鶏卵及び同製品 六七 胡桃(穀つきの

生物学下にりに上すい 重進入によ光視なが外 変し、ちり分なき如國

を放氏(満鍛社員)三の治氏(同)同

一、本制度質施前に第三國向 対教とと、本語の基礎は整本となってある。 銀券の基礎は整本となってある。 銀券の基礎は整本となってある。 銀券の基礎は整本となってある。 銀券の基礎は整本となってある。 銀券の基礎は整本となってある。 のと期待に要應じを行ふ方針が確認し得のと期待されての聯盟にある。 のと期待をである。 のと期待をである。 のと期待をである。 のと期待をである。 のと期待をである。 のと期待をである。 のと期待をである。 のと期待されてる。 のと期待されての。 のと期待されてる。 のと期待されてる。 のと期待されてる。 のと期待されてる。 のと期待されてる。 のと期待されてる。 のと期待されてる。 のと期待されてる。 のと期待されてる。 のと期待されてる。

四三〇〇〇九四二八六十四

豫定である 豫定である

團暗躍制

旧土海二日發展通」 解政府直 京芸境に立ち数日前重慶勝政 京芸境に立ち数日前重慶勝政 京芸境に立ち数日前重慶勝政 との請電を發したがこれに對 は期かであり蔣政府當局は速 は期かであり蔣政府當局は速 私 くしてゐると傳へられてゐる は蔣政府に對し不滿の色を 遺任なき旨の返電を寄せ工部 に蔣政府に對し不滿の色を 漫 而して工部當局の自衛のためを通じテロ團に對して租界外を通じテロ團に對して租界外に退去するやり秘密裏に交渉を行つてゐるとも傳へられてをり工部當局の自衛のため

上海出帆の上海丸で日本に修 大、同學旅行の途に就くこと」なった、同學院は維新政府成立後 た、同學院は維新政府成立後 た、同學院は維新政府成立後 た、同學院は維新政府成立後 日本を観察、これに對する認 職を深めんとするもので、海 に當り、三日長崎蒼、四日東 に當り、三日長崎蒼、四日東

電話の表別では、 「徐州二日愛國通」世界の視 では、一年は新安鎮東方に出没する。 「徐州二日愛國通」世界の視 を作り治安を楽し市会計でです。 を作り治安を楽し市会計でを被 を作り治安を楽し市会計でを被 であるが軍は断乎これを全滅 である。 では北安全土に亘る瀬清工作に では北安全土に亘る瀬清工作に 大るで、上では、一年の王部隊があり、首都南京 では北安全土に亘る瀬清工作に 大るで、一年の要が現るが、 である。 であるが軍は断乎これを全滅 である。 である。 でもした平野部隊、 作品であるが軍は断乎これを全滅 である。 である。 である。 であり、 を開始の関節腺と稱した平野部隊、 には、 であり、 でいる。 でいる

十キロ洋陽を占領した、同部 経ふて西南へ向け猛進、各火線を 対る敵を捕捉潰滅して包圍陣 の完璧を期してゐる

● では ・ 数を大混剣に陷れ悠々 ・ 数を大混剣に陷れ悠々 ・ 数を大混剣に陥れ悠々 ・ で、数を大混剣に陥れ悠々 ・ で、数を大混剣に陥れ悠々 ・ で、数を大混剣に陥れ悠々 ・ で、数を大混剣に陥れ悠々 ・ で、数を大混剣に陥れ悠々 ・ で、数を大混剣に陥れ悠々

神(な) 二日來京ヤマトル級氏 (大連都市交通

往

での○二日愛國通」情報によれば、京漢線西方地區を長江 政に線須した支那軍は急遽江 政に線須した支那軍は急遽江 政に線須した支那軍は急遽江 大によつて敗勢を喰止めんも のと狂奔してゐる、なは攻撃 の目標たる第五瞬區總司令李 宗仁は中央の命に接し三十二 師を沙洋鎮に、四十一師を沙 が市に集結すること、なり、何

男 玉 少 作 戦傷 州 一 日 強國通り 〇〇部 職 州 一 日 強國通り 〇〇部 職 州 一 日 強國通り 〇〇部 職 が 一 少 佐 は 十 二 日 宿 選 北

デベしとの酢命を發する一方 第五酸區強備兵團として荆門 の 宜昌、遠安に駐屯中の薫之楚 大 劉膺占、王徴緒、孫震各軍に 対して第一線增援を命じたと

線戰水漢

きを期するやら種々意見の間 はより大阪牧方火薬庫爆發事 相より大阪牧方火薬庫爆發事 作につき報告、同十時中散動

會事內可開

遠陽の線に集 上の新安鎮よ

新

出 ◆大江力氏 二日奉天へ ◆上野曲人氏 鎌倉へ ◆上野曲人氏 鎌倉へ ◆上野曲人氏 鎌倉へ ・上野誠一氏 泰京へ ・大連へ ・大連へ ・大連へ ・大連へ という とれを追つかけるだけでは物 とれを追つかけるだけでは物 ○ 八親王殿下御誕生遊ばされて、みなぎる慶祝のうちにける桃の節句を迎へる

0

H

(兒玉公園前)

話③

六五六二

二九三二

强さして戴きます 自轉車に經驗

通學用自轉車は特に勉

車轉自土富

現内、し上奏を詞記くしる恭は職神村権、後2(黄献、破修、式開に下の 員器、てし念新をとこれも第4条業職の生国の行、告奉を談降御の下版王 るは行祭告

本白系の人、男四百二十名、女四百三十二名
で前月から見ると一ヶ月間男で四百三十八名、女で三百八十六名、計八百十四名の増加昨年同期に比較すると滿人は

大を、父を北支北滿の第一線 田勝ちに守つてゐる家族を慰 大 田勝ちに守つてゐる家族を慰 大 日間するため滿鑛社員會福祉部 大 日間するため滿鑛社員會福祉部 大

組合從事員で組織されてゐる 素人演響團に出演方を交渉し たところ快諾を得たので組合 當局の諒解のもとに一日から 十日まで奉天、無順、四平街

赤へ軒

平島文社長婦任 平島文社長婦任

圓

大二二二七七〇三三三三二七〇三三三三三二七四 七三三三三二十一四三二一〇一

行工 三日朝刊國防獻金訂正 三日朝刊國防獻金

あ

す

H

△內地人、男四萬五千六百三十八名、女三萬六千九百二十四名 女四千五百十四名 女四千五百十四名 女四千五百十四名 女四千五百十四名

人、男四十五名、女二

留守宅を慰む

▽……滿鐵福祉部の心やり

庭球理

事會

あつたが

(一八)と金輝路第四代用 会居住山野菊子へ一九)=何 会假名=で二人は映畵館で な一緒になつたと言ふので な一緒になったと言ふので な一緒になったと言ふので

皇帝陛下御祝宝 全野總務長官は同日松平宮 の御慶事を開召され二日室の御慶事を開召され二日室の御慶事を開召され二日室の御慶事を開召され二日室の御慶事を開召され二日室の御慶事を開召され二日室の御慶事を開召され二日

研究をとげた 研究をとげた

了(富家殿)

中島人は二千三十三名のいづれる増、總計に於て三萬八千 九百七十名の増加を示し依然 東進の一途を辿つてゐる

一月末現在三七九、

〇五六人

一七萬九千五十六名となつ出土七萬九千五十六名、總計二十四名、女は十

内譯は

の皮から献金

青年教育研究部 新京青年學校では五日午前十新京青年學校では五日午前十新京青年學校では五日午前十新京青年學校では五日午前十新京青年學校では五日午前十一個教育研究部第四區聯合第一回教育研究部第四區聯合第一回教育研究部

演することになった

北 滿青年學校 北 滿青年學校 北 滿青年學校 北 滿青年學校 北 滿青年學校對校武道大會 北 滿青年學校對校武道大會 北 滿青年學校對校武道大會 家屯、敦化、新京等よりの選 歌地、教化、新京等よりの選 歌地、新京等よりの選 別が表記道大會を 「一般の報覽を希望してゐる

年度ぜひ決

松岡線裁 松岡線裁

來京數日滯在 開発機調と 開発機調と

內 本産業株式會社(舊商號)株祭 工十株 第 二 大 大

表示

拂込額

番號

主名義人

SKO ENCO

梅溪通弘

名、女十一萬八百五

(日程) 三月八日新京登率 (日程) 三月八日新京登率 (日程) 三月八日新京登率 第二班(興安西、南省) 本職と 第二班(興安西、南省) 本職と 第二班(興安西、南省) 本職と 和西、開省、近日(三月八日新京登率 本語間し十六日新京に 野市 を著官、外二日、大石橋の各地 を事官、外二名 (日程) 三月十一日新京登率 (日程) 三月十一日新京登率 (日本) 第二年(三月十四 11年 (日本) 第二年 (日本) 本職と 21年 (日本) 本部と 21年 (日本) 本部と

一日午後九時半頃市内吉野町 門書館長春座に於て観覧席の一隅に映畵館長春座に於て観覧席の 一隅に映畵見物中の若い男女 が衆人環視の中もはどからず 見るに見かねてゐるを首警防 見るに見かねてゐるを首警防 の正の男女はいづれも某特殊 育社に勤めてゐるボーイ瞿樂 路景智胡同鑒樂莊居住川原一 宮舎居住山野菊子(一九) と金郷路第四代用 「宮舎居住山野菊子(一九) と

(注 腳 日)

長、治安部佟衡上校、外二制處長、田中產業部人事科十田原大臣秘書官、皆本登班長一皆產業部大臣,雖員方面)

(=)

映畵で風紀を紊す 更に品々溪、扎一月十日新京段齊 春機發動期

横州國政府はわが國土防衛と 國軍及び警察官並に不幸傷き たる傷病兵に對し深甚なる感 調の意を表し、併せて之が慰 間を行ふため來る七日から約 計日間に亘り各部大臣、總務 住官・興安局總裁及び外務局 長官を班長とする七田の島間 乗官を班長とする七田の島間 が地に派遣することへなのた の意列、総州、營口 方面)

| 一察外務局長官、班員 | 一察外務局長官、班員 | 一察外務局長官、班員

(齊本哈爾、滿洲里-六日白城子に至り王

ら長官

日間

命鑑

對秘

守絕

師 仙哲本山

利京日日新聞社 東京 豫 言協會堂 別京記念公會堂

世界 神智會 陰育聯盟 ・ 大めオリンピック日本代表選 ・ 大めオリンピック日本代表選 ・ 大めオリンピック日本代表選 ・ 大めオリンピック日本代表選 ・ 大のオリンピック日本代表選

三月五

日より

師洲哲橋

東京大翻

111

哲

仙

師

十本

新京銀座 グランド 大蔵 五素人にても可い よーイ 敷名但し

L

十五歳よ

結婚、

家相、

人事百般指導

相学

眼に除った者に 一で取るを強い、ことに整居と に開放される者にも言い。 を素すというのであるが、をは に開放される者にも言い。 を素すとのであるが、をは に開放される者にも一致に で或る程度の目も流ざかつにとの数 を素すと表情に を素すと表に を素すと表に を素すと表に を素すとのである。 にののを を表すと表に を表する。 にののを を表して に必ずるのである。 に必ずるのである。 に必ずると に必ずる。 にとのでる。 にとのでな。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしていな。 にしていな。 にしていな。 にしていな。 にしていな。 にしていな。 にしていな。 にしてな。 にしていな。 にしいな。 にしていな。 にし 一人にお炙

阿部二郎氏 て充分の考慮を希望す

容體は脈膊七十二、熱三十六治療中の阿部二郎氏二日夜の

進國

都

七度に下り殆んど平静に復し たので係員一同もほつと愁眉 してゐる、なほ河島氏遺族四 してゐる、なほ河島氏遺族四 名は十日前後隔離を解除され る模様である 馬の傳染病

首都警察廳管下に於ける馬匹 の最も恐るべき傳染病鼻疽、 炭疽の豫防注射は來る三月一 月に亘つて施行すること」な つた 豫防注射

療理を派遣する、巡回する縣 で、なほー行は醫薬一千六百 変を携行する

滿赤施療班巡

では來る六

治安部郷軍 治安部で 一時から國務院講堂に於いて 京人分會を組織すること」な り、その發會式を計八日午後 工時から國務院講堂に於いて 開催、式終了後國務院興順大

五、电头期限 联德六年三月 九日 九日 九日 大、申込期限 联德六年三月 大、申込期出、新屬、姓名、 年齡を明訊し新寫特別市公 署保健科內體育聯盟新京特別市公 署保健科內體育聯盟新京特別市公

官院

郎



澤、麻生、石部、黒瀬、南地 長興各理事、それに體育聯盟 を行ひ同夜八時から奥田部長 を行び同夜八時から奥田部長 を行び同夜八時から奥田部長 で行び同夜八時から奥田部長 で発力を行び同夜八時から奥田部長 で発力を行び同夜八時から奥田部長 で発力を行び同夜八時から奥田部長 で発力を対した。 スケデュール を対して、スケデュール を対して、スケデュール を対して、スケデュール を対して、スケデュール を対して、スケデュール を対して、スケデュール を対して、スケデュール を対して、スケデュール

を携行し日本體的並びに陸聯の と携行し日本體的並びに陸聯加盟手級の件及び日 新支交體競技會開催の滿洲空 直脳部と打合せのため來る九 を携行し日本體的並びに陸聯の 日新京設で東上する事になつ 自脳部と打合せのため來る九 を携行しれる滿鮮對抗 たが、同氏は十日途中京城に を携行しれる滿鮮對抗 たが、同氏は十日途中京城に を開催の滿洲空 聯の の翻目について打合せ のため來る九 である を管である

せ抗につ九聯案日の員木

九日東京

定記数券/所持人へ康徳六年九月 田ヲ爲サザルトキハ直ニ證券無效 登 券 ノ 表 示 登 番 ノ 表 示 康德六年(黄) 第九號

六才迄の男子、

壹壹壹壹壹一一一一一壹 枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚

齢二十五、六才迄の 但し日

鐵社員消

天醫 二八九〇日

京

迄

本女給募集 御希望の方は梅ケ枝町 高ビルニ階一二七

元 新 新 所

店は三十歳未滿内地人年齢は三十歳未滿内地人年齢は三十歳未滿内地人年齢は三十日

人に限

二日

住民の學力を有

営課へ出席 右希望者は 滿洲 中央銀行庶務課

本事務所 b

一、年齢十五歳以上二十三歳以下で 高等小學校卒業程度の學力を有 する者 ・勤務箇所總行並中銀俱樂部 ・一、勤務箇所總行並中銀俱樂部 ・一、動務箇所總行並中銀俱樂部

公 二 八 催 七 香川縣高級市八丁目参拾番地 月二十日午前十時迄ニ當法院ニ糖利ヲ国出テ且證券ヲ ボ 女公子 本京 小森レイカ行き 御希望の方は左記へ本人御来談下さい 新京吉野町四丁目五 南久 屋旅館方 小森 女子從事員募集 一、學歷高小高女卒業者 一、舉酚二十五才以下 一、婦別三月十日 右希望者は自筆履應書に 初表明一丁目 十一月一 電影断の上採用本 看 選 婦 B 间间间间间间间间间间间间间 同间间间间间间间的取出 **慶島持令本人**変婦見習 ヲ提出スペク若シ右柳日窓 夢集 中條孝行人 3 房间间间间间间间间间间间 同 间间间间间间

一二四四七番

迄幸 超行

長

鄉

見玉公園 ふ閉鎖

103

· 0今,

▲七・三〇合唱(東京)▲七・四〇講演「趣味の甲冑」明珍宗★へ・〇〇章議(大阪) 竹内帽子外▲八・一〇能囃子

主なる放送

▲生長の家講演會 午後七時 より於國防等館 ・ 会 於日瀬軍人会館午後一 ・ 時

同科同同同同同同同同同同同 同同同同同五同

阿

健味は寧ろ再映陣 を新やネの毎週大都三 観やボの新興大都三

各會

髪割 店型

酸引

支へないのであり、ニュース 書の排底を告げる事もなく、 書の排底を告げる事もなく、 これが實施にも先づ最初は六 大都市に限り、漸次その範圍 を擴大し一年乃至二年後に全 にするとか、或は初めは月一 にするとか、或は初めは月一 にするとか、或は初めは月一

園芳亭の一葉クン、粹な中年 都々逸でも唄ぶとお客の方も が、この人の三味線で笑丸か が、この人の三味線で笑丸か ないのである、一葉が「何か は「俺が唄ぶとお客の方も といふとお客





新制定にみる映畵法の文化映 書願係について結論される状 勢-文化映畵の指定上映は當 た解釋が業者間に行はれてゐ るようだ、この制度は文部大 臣が指定したものを二百五十 大なるかも知れない)上映し くなるかも知れない)上映し くなるかも知れない)上映し れた映畵を必らず全國の館へ 出せといふのではあるが指定さ れた映畵を必らず全國の館へ

· (日曜土)孙

東賓のこと

の「忠臣藏

その母の微妙な心理を もので「制服の處女」」 名作と云はれ、久々の 酷として、歐洲各地で」 地でも絶讃

公し

開ヴ

二月八日より

日

間

湖社員俱樂部

ュ

●一白の人 正しき道に入な ・一点の人 正しき道に入な ・一点の人 正しき道に入る。 ・一点の人 をり気と可が書 ・一点の人 をり気と可が書 ・一点の人 をり気と可が書 ・一点の人 をり気と可が書 ・一点の人 をり気と可が書 ・一点の人 をり気が書 ・一点の人 をして、 ・一点と記とでは、 ・一点と記とでは、 ・一点と記とでは、 ・一点と記とでは、 ・一点というが書 ・一点というできない。 ・一点というできない。 ・一点というでは、 ・一点といる。 ・一点というでは、 ・一点というでは、 ・一点というでは、 ・一点というでは、 ・一点というでは、 ・一点といるでは、 ・一点というでは、 ・一点というに、 ・一点といるに、 ・一点といるに、 ・一点といるに、 ・一点といるに、 ・一点といるに、 ・一点といるに、 ・一点といるに、 ・一点といるに、 ・一点といるに

新」と三桝豐、高津慶子主演 の時局籍「離なき萬歳」に大 が加はる、盛り澤山なところ だけが取り柄である

つれる変い。 を整督、 大郎、 高田大作・ 大郎、 高田大作・ 大郎、 高田大作・ 大郎、 高田大作・ 高田浩吉、 派美佐子主演 の大作の 貫禄 で込むいがない。 で表 変の を強いがない。 で表 変の でもないがない。 でもない。 でもないがない。 でもないがない。 でもない。 でもないがない。 でもない。 をもない。 でもない。 でもない。 をもない。 でもない。 をもない。 をもなな、 をもなな、 をもない。 をもない。 をもない。 をもなな、 をもなな。 をもなな、 をもなな、 をもなな。 をもなな、 をもな、

荷、餐助出演として阪東裏助 を始めとする東雲劇團、古川 線波、エノケン一座、吉木興 デ・新協劇圏、日劇ダンシン グチーム、花柳壽輔祉中が出 演することに決定して居り、 詳細全配役は追て發表。 化映畵指定上映 ウファの「早春」 久しく沈默を守つてゐた程を 東オルスト監督の「ブルグ間 場」が東和商事へ入荷し、は 「場」が東和商事へ入荷し、は 「場」が東和商事へ入荷し、は

氏 開 友 庚 土 宿 引 子 曜

東京都の (本) (本)

ゼーションを起した、東和高 関の突破し洋震與行にセン 世へ着劇、大勝、では三日目にションを起した 0

新キネ 劇の

の「暗黒街の

た、あとは言へない二人は熟 た、あとは言へない二人は熟 た、あとは言へない二人は熟 大の映湯ファン、公保日には 映楽店廻りと映畵見物に限か るときには前夜に十二分の睡 しないのだといふ、ユックリ ををとつてゐないと見た氣が しないのだといふ、ユックリ を変離れに願をがけるといふ、 サテ神様が聞いてくれるかし

教石

入院在診隨意 天野学 鄉関之助鄉間之助 野医 院

上生菓子 七八九五30電 荷運 造送



務 3 1

0 変

務々徽庫融險 理

徑 勞ト運倉金保

九人七六五四三一〇九人七六天四三二一二

0

專 石石國 上手荷日小兒 買 到 到 設 庶

图 取 到

事役



引越荷物通關代辨 一際連

治夫供給 輸料式新京 委 託 賣 買





の此の大歌劇

!! 演出總一タス女男!! 版華豪の有稀させ成完でけ擧を力總が都京興新

でま日六りょ日四

演主•藏惠干简片

木立

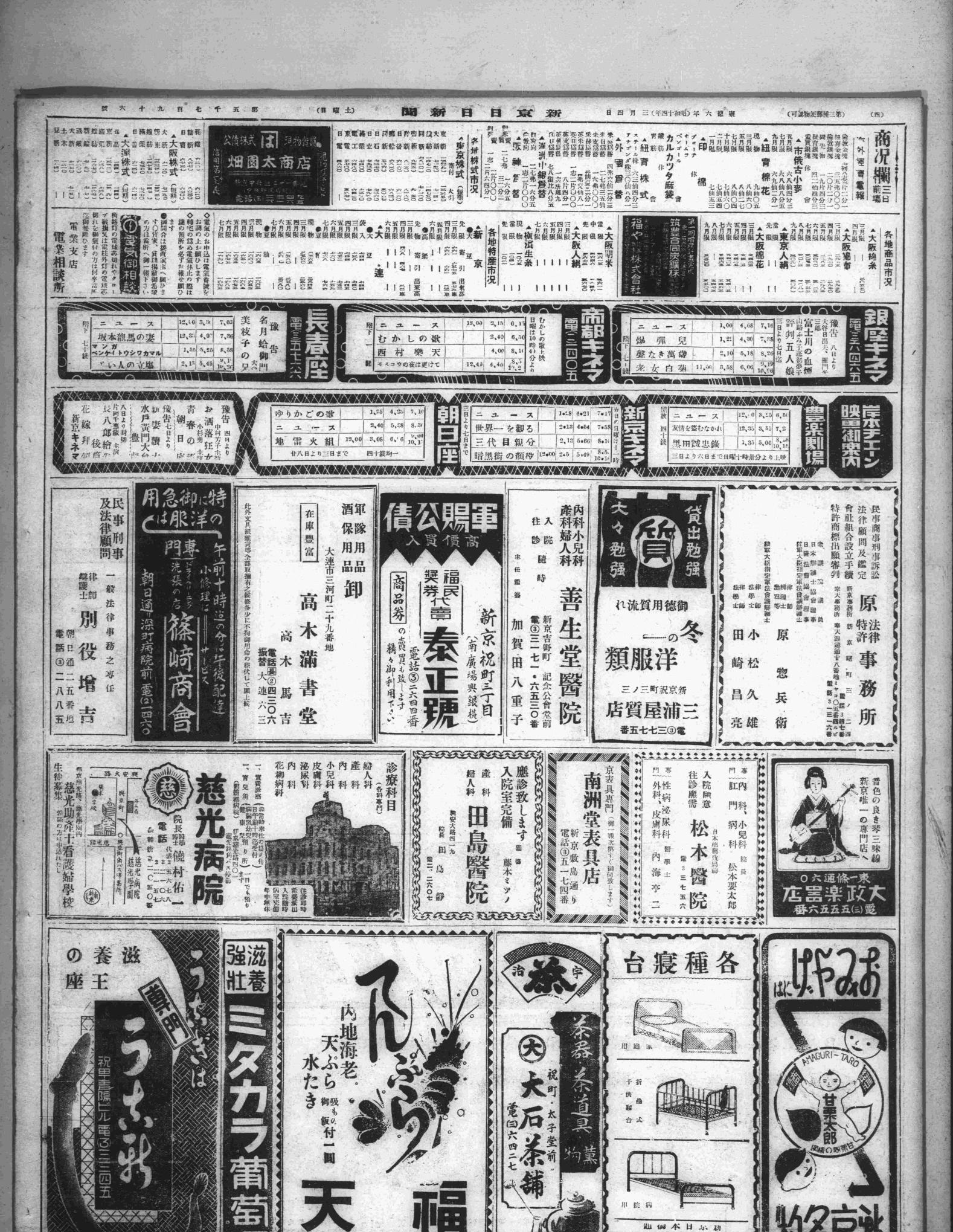
邱四染井·子榮知田村·勇杉小

同時上映 賀 靖 れ流の春 朗

大友 柳 太 鄉 太 鄉 太 鄉 太 鄉 太 鄉 太 鄉 太 鄉 歌迎出篇

呂九平治禪





道

0六六③話電

座銀.宗新 バセセミ.モハハニ(3)電 略攻をカチートの敵

河内に在る 正精衛に對し極力 道によれば蔣介石は目下佛領 道によれば蔣介石は目下佛領

に二日河内より軍慶に 酸の貫徹に邁進すると述 酸の貫徹に邁進すると述

面に於て一昨一日凝軍航空部一撃し、これに大打撃を興へた部三日午後四時發表=南支方一呼應し北江方面の敵陣地を攻部三日午後四時發表=南支方一呼應し北江方面の敵陣地を攻

海鷲、各地に戰果赫々

南支を空襲

各部機

ところによれば响水口鎭にはよる○○遡江作戦は緊密なるは、响水口鎭に突入同十一時に緊密なるは

戦長に江 團(團長曹習貴)約一千が駐屯してゐたが、わが陸空軍の猛襲は更に間髪を入れず○○方面に向け進撃を開始した、なほ土民

双水子に據る敵の經微なる抵抗を排しこれを確保、同日午 前十一時頃には○○部隊先 は早くも目指す駒水口鎮に交 不これを鏡く主力部隊は海軍協 これに鏡く主力部隊は海軍協 で突破、午後三時過ぎ駒水口 鎮に殺到、玆に○○遡江作職 は鞭期以上の職果を收め聖職 大とに、又

「漢口三日發國通」臼口鎭を 作久間部隊は泥濘馬腹に達す 作久間部隊は泥濘馬腹に達す を入間部隊は泥濘馬腹に達す

製占領の一兩部隊

(二四八三) 電 六一通條一東京新

約七千、應城、荆州公路との一 おが有に歸した臼口鎭は人口 は漢口三日發國通」二日午後 り去つた

五十の敵を水底に群

司加商

材甲

は三月一日午前二

取退路遮斷さる 千前十一時○○に突入、更ちに上陸して同河を遡江しちに上陸して同河を遡江し

綾々到着しつゝある ものであつて、主力部隊も

る外他の一部隊は海南島陸上 部隊は掃蕩戦に協力し多大の 職果を牧めたり、なほ油頭方 面の偵察攻撃に向へろ○○機 は油頭響並に削州驛を始め附 は油頭響並に削州驛を始め附 長に贈動

た池田大審院長の漸洲國法典 編纂事業に盡した多大の功績 経典召され、今般特に動一位 社國章を贈興遊ばされる旨仰 出され、三日左の如く勞表された 法長事と、也日賞二郎 署長會議 經濟部では本年度增配に作ふ 一部税制の改正を勘行するこ とよなつたので三日より二日 間に亘つて税務司主催のもと に全補税務監督署長、副署長 に登補税務監督署長、副署長 はか 関係科長出席のもとに種々協 (一月廿五日附各通) 兼新京高等檢察應檢察官 補刑事司檢察科長 司法部人事異動 全滿稅務監省 美女給續 爛漫と 花の國 內地各都市 棚引く 春に魁 ニッポ 々入店 選拔花形 大合唱 花霞 けて 今人氣の焦點素晴しい好 ンの 新東洋に盗る さくらの凱歌

て見ると、生産

も角爲替案務の開始は職銀券 てゐる も角爲替案務の開始は職銀券 てゐる を見てゐる、兎 その前途に多大の期待を持つりを行ふものと見てゐる、兎 その前途に多大の期待を持つ

新京金融界も前途を期待

東條通三

競表し

ランコ政府を正式承認する旨國通」プラジル政府は一日フロックの政府は一日フロックの政府は一日フロックのでは、1000円を承認

中谷時計店

滿人木材夫を襲

つた匪團を逮捕

聯銀ご内地銀行

契約延長

てハノイ三日登録通」一時荷を申止を傳へられた海防港は中からの後倍舊の活況を呈しつとがソリンが殊に目を満く、トラックも消息筋の計算によると毎日州臺は少くとも廣西には表してある。といはれるの性を滅散してある。といはれる。大型が相當多いといばれる。

極東ソ聯兵軍紀紊亂

た大爆發し同建物は一瞬にした、 で空中偵察を行つたが、同線 には軍用貨車輛多く往復頻繁 には軍用貨車輛多く往復頻繁

貴陽軍事施設損害

猛爆の爲二千五百萬圓

浙赣鐵道空襲

補給路

海防の活況

為替管理實施に伴ひ

聯銀券更に躍進

伯國政府

一杯には操業開始の豫定で

金財務處管財科長 金財務處管財科長

再び荷役開始支那向軍需品

大統領より 大統領より 大統領より 大統領より 大統領より 大統領より 大統領より 大統領より 大統領より

南けたい。一萬噸級巡洋艦を日本へ差

一一一應本國政府にその旨傳達し 「関の好意を深謝するとゝもに 関の好意を深謝するとゝもに との申出でもつた旨傳へた、

巡洋艦で輸送

米政府好意

生きる不要紙

特殊製紙愈よ創立 今年中に操業開始

イ 及後 間州 半島、香穂、豪北那 新、福 間 各飛行場に 寄航 立川 入りをする 申請のコースを 許 可するに 意見一致、二 日外 務 省を 通じドイッ大使館に 正式 に 許可證を 通達した、 本邦に 市 対 記を 通達した、 本邦に 京 が ら 國外定期 航空のコースを

まだ歌組が完了したわけではなく全部の役員等が決定した上で、その方針等を決定したいと思つてゐるやり出すことばかりを考へてあるやりだ、ことに家庭の中間に引張したの點大いに考へねばならぬと思ふ、言つてみればならぬと思ふ、言つてみればなられればならればなられればなられる。

を目的として設立計畫中であ を目的として設立計畫中であ で、近く率天 が、大学には、一日午 で、近く率天 が、大学には、一日午 で、近く率天 が、大学には が、近く率天 で、近く率天 で、近く率天 で、近く率天 で、近く率天

その回答をまつて正式にお答さきに一九二五年七月當時では前の申出で、今回の非子殿大使エドガ・バンカロフト氏の遺骸を横濱にいるべく堀内大使以下大を節では深くこれを多としてある。

飛翔することは前例がなく、

の點時に注目される

本の 「東京國通」米國政府では密 市 大阪市大使の功績を惜んでその 造骨を米國東極で日本へ護送 たり二日午前十一時半グルー た動間、正式に米國政府の意 向を傳達した、なほ二日朝掘 の旨公電があつたので有田外和宛右 の自公電があつたので有田外和宛右 この米國政府の騰部とも協議の上 たの米國政府の騰部とも協議の上

大交官、酒も臨も論説も外務 無田晉四部氏は鄧破りの少壯 は世紀 が変官、酒も臨も論説も外務

脫走激增

ノックアウトを喰つて逃げ出の無田書配官の辯論の快調にの無田書配官の辯論の快調にの「大は誰もが正々堂々

陣營の右翼だ

書記生達を前にして

同一任地で暮すべきだよ てしまふ筈だよ んざりした黒田秘書官、岩

地負を語った 物負を語った 相負を語った

筑紫中將談國民精動理事長

全湖主要都市百貨店及築店にて販賣す

香りと味の 粉末昆布茶の雄 長期建設には先づ健康! **酸造發賣元** 保健にはスツボンホルモン葡萄酒 満洲國新京 を召し上れ へ船町三丁目一東二條通り 軍用双眼鏡 = 卅五圓より二百圓 贵 フリズム 周より四十個 倍 一二六 倍 お茶と茶道具の店 會 100 F. ③ 五支 電話(3)四七七〇番新京吉野町一丁目 O四店

の縮小ではなく、發展の統制として日本經濟乃至東亜經濟別では出來ない。今後の問題としは出來ない。今後の問題としは出來ない。今後の問題としば出來ない。今後を樂觀することは出來ない。今後を樂觀すること ※深夫人來京、満洲國帝后御母君榮渡夫人は隨 第四名と共に三日午前十一時四十五分着のぶみで書京、 真四名と共に三日午前十一時四十五分着のぶみで書京、 に車を連ねて潤麒邸に向つたが、潤麒上尉は夫人に代 って ではんの内輪の來京で新家に遊びに見えたまでます。母 年いまごろ來京されてゐます 協和青少年團

一日結團式を繰げた首都協和 青少年團の結成經過は結團式 場に於て柏原首都本部事務長 より報告されたが結成經過は

にハノイ二日登園通」安南土 上海和界整備のため新たに安 人警察験を急派するに決し で裏方を各市長、村長に傳 で退役軍人若しくは會つては と海で事ら警察方面に配置さ れるが、上海における昨今の と見られる

富力では種々の困難が養地であるが、即ち同行はであり、まだ評電に接しないが英米側がであり、まだ評電に接しないので判然をしても外國為替の養質を行びのであり、まだ評電に接しての工機を通貨として市場に登場して市場に登場して市場に登場して市場に登場して市場に登場して市場に登場して市場に登場して市場に登場しての工機をの加く非協調的な態度をであるが、今日の大学であるが、今日の大学であるが、今日の大学であるが、今日の大学である。たちに、一般であり、まだ評電に接しないが英米側がであり、まだ評電に接しないが英米側がであり、まだ評電に接しないが英米側がであり、まだ評電に接しないが英米側がであり、まだ評電に接しないが表に関連をである。

はこれに强力な金融的支援をしたが、意々三月十日を以て同行との間のクレデットを設定したが、意々三月十日を以て加盟各銀行の流向でとなって加盟各銀行の流向でとなって加盟各銀行の流向となって加盟各銀行の流向となって加盟各銀行の流向となって加盟各銀行の流向

圓満解決 香港政廳コン

用の醫師決定 滿鐵明年度採

安南人警察 を上海に急派

(東京國語) 昨年三月中國聯 大事力・五銀行(與銀、正金、 新銀、第一、三和、三井、三 変、安田、第百、住友、豪銀 野村、愛知、名古屋、神戸)

世として二百六十一代教王に 施政務局長パチエリー[編機官 が次期教王に當選、ビオ十二 が次期教王に當選、ビオ十二

匪城十二、三名に襲はれ、一名は射殺され三名を拉致して西北方に逃走した、急報に接した同縣警察科では直ちに吉岡野佐以下州名出動廿七日午高地南側において匪音忠畿の存在を發見し、交職州分除に

にこれを道案内として附近のして頭目楊春山を捕虜とし更

低的掃蕩を練行中である

といなつたのでありますが此 を対するのでありまして、政府 要するのでありまして、政府 要するのでありまして、政府 要するのでありまして、政府 でありますから首都本部と致 しましては今後益々関係各機 になったのでありますが此

イツ機

航空局、陸海 一型機のユンカー 一型機のユンカー

新ローマ 教王ピーオ十一世薨去に伴ふ新ローマ

外務局事務官 竹之內安己 知 佐外務局事務官 (三等) 命長官々房弊事 (庶務科長) (中、爾濱市技正兼濱江省技正 ・ 高儀 ・ に登締需品局技正 (二等) ・ 合營繕鷹第一工務科長

國務院辭令

病院療養所などに配屬される 校の出身者で管下五十ヶ所の 校の出身者で管下五十ヶ所の

國防皇軍慰恤献金品「蘇」

ネキスウ

神経痛。のむとすぐきく

一鯉瀧の登場(厩舎)

滿實業協會總會

五月十八、十九兩日新京で開

◆近頃の郵便配達夫は甚だ不 親切である。當局は速達郵 便とか航空郵便とかを大い に宜傳するのもよいが、も 少し郵便配達夫の質の向上 に努めるがよからう。

○この間、別な家に配達さるでいるがよからう。○この間、別な家に配達さるでいるではなため小生の家に配達された。早速

◇郊外

市本にとです、何分多數の聴取 おっている ますので、當所では 者でありますので、當所では 者を第二とする關係上其の許 名を第二とする関係上其の許

卅五萬石要望 って重大なる競言権を獲得したが、當分難紛系の重役は日 たが、當分難紛系の重役は日

豫算百七十萬圓 のため寧安、

從來の強壯劑ご

理のヱッセンス 異り内容成分の 示す如く現代學 特殊作用

るけ基に理學 の代時新



行惱る

0

高梁工業研究所 高沙工工業研究所 高沙工工業研究所 高沙工工業研究所 高沙工工業の發展が期待さ たも産加工業の發展が期待さ で、今回研究所を設立しても の登展を聞らんとするもので を重ねてるた北島安太郎氏の で、今回研究所を設立してそ の一つとして の一つとして の一つとして の一、高季に関する工業所有權 の取得 の取得 によるとこのほかに十種の重 共他を事態とするものである。

興中事業を肩替り

なり、又東京支店長には秋出 下谷軍役は何れも北京常駐と 下谷軍役は何れも北京常駐と 扇屬を決定することになつ のいでもないが、この獣に ないでもないが、この獣に ないでもないが、この獣に では追つて正式にその が、この獣に Pを来さしむる如きこと で満洲國側の食糧確保 を強いいで、思惑取引の對 三ヶ年計畫を樹立(豫算自七 一萬餘國)直ちに實施する事 となつた

眼科

めき食然を増し、身

本から品進し、めき

身體細胞の活力を根

二四二五五

の増殖を盛んにす

神の疲勞を驚し血球

決定した 概定を中心に、井隧は貝 最炭礦を中心にそれん~一 最炭礦を中心にそれん~一 は貝 大変であることに 大変であることに

ゼネラル・モ

月頃となる模様である ージ制度に決定

北支開發會社の統制外の事化支開發會社の統制外の事化支開發會社の直轄事業に北支開發會社の直轄事業に北支開發會社の直轄事業に対して級を対して経営

從來馬疫防

症應

海洲國政府は豫てより原補の 手需及び綿製品價格統制につ いて綿聯を中心に種々具體策 化する建論からいよ (統制 化する建論からいよ (統制 と施行するに決定、来る六 日の國務院會議に上程の上近 馬安研究所擴充 高泉研究所 大変期し今回馬疫の防遏對策の完製を期し今回馬疫研究處の定員を期し今回馬疫研究處の定員を期し今回馬疫研究。

研究官および副研究 たが、昨今の鼻疽 配満注射の方法を 製疫研究所にて製

次
 上
 上
 上
 次
 上
 次
 上
 次
 上
 次
 上
 次
 上
 次
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上
 上</l

適型麻會社東役所有株一萬株 東京関通〕 鎌紡では今回日 一萬株を肩替り

秦土豆大滿新繼滿東五 天 株木新新鐵鐘紡業新品

一型、公司 合統 名乗店ニア 所感製材植町電影

次型 解散 カルシウム イ ガ 間 解性 ア ヤ コ ストリー オ ガ コ カ ロ ロ カ カルシウム

ます。

既を刺

せず(シマズ、イタマズ)

分 成

家庭葉の使命ー

一効力第一

殿製せるものにして我國醫學、藥學の粹を蒐めて現代服料を見ら有効適切なる處方を、藥學博士中尾万三先生指導の下に股科衛生の立場に於て多年研究の結果、治療上並に健服上、股科衛生の立場に於て多年研究の結果、治療上並に健服上、股科衛生の立場に於て多年研究の結果、治療上並に健服上、 の最高標準を行くものであります。

現代眼科溪

の最高標準

結膜炎に對する ロート日薬の効果

ロート目標の優れた常気作用は、解膜の影響が、 態態の疼痛は押へられ茲に響るしい時間と 思部の疾痛は押へられ茲に響るしい時間と 見るのである。

る。俗にはやり目、やに目、はれ目、ち目と呼ばれるのがこれであるがトラホームを呼ばれるのがこれであるがトラホームを制度気の一種である。 の微微、咳は汁、痔射日光、磨埃、膿水な成はコツホウイークス氏菌、香稈電其他原因はコツホウイークス氏菌、香稈電其他

角膜炎に對する

ロート目薬の効果

一、角膜炎 これは解映、動う眼壁 の無い部分に起る炎融である。その症状としては無限に小さいはい野が出来たり、又 これが確つたりする、気るものはひどく で出て腱影が影響し、臓・医動を避し、突が出て腱影が影響し、臓・医動を避し、突が出て腱影が影響し、臓・医動を避し、吸がこれに振する。俗にかすみ目、ほんが動りを皆行すればよいが、影影影が特にた通りを皆行すればよいが、影影影が特にた通りを皆行すればよいが、影影影が特にた通りを皆行すればよいが、影影影が特に ロート目間の終るべき飲色の一つである。の能めた様な、ヘッキリとした機能とそう

の製及び自腰を離うて居る際・腰)に使るの製及び自腰を離うて居る際・腰)に使るの製皮が自腰を離うて居る際・腰)に使るを解が出る、腰膝が離れる、明るい光線に関が出ると素明ゆくて眼が開けられない、交にできると素明ゆくて眼が開けられない。交には一般がない。

神膜炎(はやり目、やに目、ち目)と角膜炎(はし目、たどれ目を)に就けっまくれん

心得 1: き眼

に関すの中でも一般に最も多い結構版と所模板に就いて述べて見よう。 と、残の神を繋がたまへ、そして正しい世の養生法を知つて置かれることが研修である。以より、 がの神を繋がたまへ、そして正しい世の養生法を知つて置かれることが研修である。近代人

の養生法

安民英

小 瓶 20段 大 既 30日 億 期 50饋 小兒用 20銭

トラホーム、疲労眼、角膜翳、麥粒腫、涙嚢炎等結膜炎、結膜充血、眼瞼縁炎、角膜炎、學校眼炎

ロート目樂は近代服科樂の理想を質現し點眼して眼に不快なを覚えることは誇るべき特色の一つであつて、シは眼病治療を覚えることは誇るべき特色の一つであつて、シは眼病治療を覚えることは誇るべき特色の一つであつて、シは眼病治療が、父スポーツの前後或は讀者、記帳、裁縫などの細いない。

精一こり目、くもり目、雪目、めばし、つき目、はれ目、かわき目的のばせ目、はやり目、たゞれ目、今に目、血目、かすみ目、ほし目

物が感染して一旦酸病したかいない。 となく、人間を始め凡ゆる動物に犬狼の同類間は云ふ迄

焼のお化粧-

ひます X X X

* お掛の様ない

宜しいでせら

(外)は、精神の緊張から、 を関って來てゐる事を意。 大れてかゝる時、生、 全般に、

オレーブ油を塗りませら 大分違つて来ますから、馴 大分違つて来ますから、馴

がたと思ひ です、例へ でも、例へ でもい化

は可成り古くより知られて居は可成り古くより知られて居ない。 狂犬病は如何なる性質のものか、狂犬はどんな症状を呈するものかとなると遺憾ながらなつで或一部の人は犬に咬みでつかれさへすれば、其の咬んのかれさへすれば、其の咬んのかれさへずれば、其の咬んのかれさへずれば、其の咬んのかれる。

おってる品種もあります。それで芭蕉を繁殖させるには 通一本の母株から五一一〇本 加の新芽が出来ますから是を 媚り取つて畑に、移植すれば 野いのです、移植した新芽が 一年も立ちますと花を開いて それが半年もすると果實にな るのです、果物屋の店先や食 でのパナムは美しい温のある 草のパナムは美しい温のある

感染 きものなる事質

百七

事

生活を送る僕心掛けられるの しい顔つきになるのも、それ神的安靜を守り、規則正しい 婦がにらみつけるやうなけは、婚がの健康は身體に變調を來 が一番賢明です、精神の安定

などはほりすぎんなどはほりすぎんなどはほりすぎんの大切にないとか何とかが、初遊がありますが、初遊がありますがのとかけられますが、初遊がありますがの大切に大切にかへ寒がしたが、寒がからない。

毛を防ぐのに対してする。 を防ぐのにはですから、肩とですから、肩とですから、肩とですから、肩とでする。

パーマネントを掛る為には虚接何の変勢を保たねばなりませんの変勢を保たねばなりませんの変勢を保たねばなりませんの変勢を保たねばなりませんの変勢を保たねばなりません。

注意を申上げまれ

自由することはありません、旅先で日常品ない。

ますが、これは立派な人間としての任務 決して恥ぢるには及びません、堂々と見 してお歩きになつて差支へごさぬません ともなれば外出が多くなり、そんな時に 方はお顔のやつれ肌の荒れがひどく目立 な思ひをするものでございます

能な野菜などは構りすぎる をす、ですから妊娠してるい時に比べて、特に意識し 注意しなければならぬ事は を動の編生です、年乳、林檎

、何時でも疚しい 気持は です、清潔にさへしてあ です、清潔にさへしてあ です、清潔にさへしてあ です、清潔にさへしてあ

ますが、これは立 た、お召物が薄く た、お召物が薄く

関薬を總動員してでも、絶對 助ける方法の無い誠に危殿な を大きに恐るべき傳染病で 有ります(最も危難視される ベストでさへ幾割かは助ける ことが出来ますが、恐水病は 他割助ける方法は有りません)此の行大病は人間を始め

ります、本社は開季獸醫で最も同病に空しく渡くすることが尠くないのは洵恐るべきは今更言ふまでもありません恐るべきは今更言ふまでもありません!暖くなるにつれ狂犬の跳栗が傳へら

分り易く狂犬に對ったのは消に對する濫蓄である。折角助かなため、折角助かなため、折角助かなため、折角助かなため、折角助かなため、折角助かなため、折角助かるでは、一般市

- る豫防並に虚置について述べ、の梁い田島獣陽にお無ひして、とであります、本社は閉座駅圏

近かロンドン東郊グレーヴャ にロンドン致)英國の少肚飛 氏は去る二月五日午前三時卅 氏は去る二月五日午前三時卅

家庭サ

D

と口を聞くのがやつとで仲々 出迎へ有難ら御座居ました」 の人々に提けられて「御 を は り

ること十七時間二十七

喜望峰間往復速度記

□十七時間三十三分 (クラ 三十七時間三十三分 (クラ

19

がは、 の一般一戸一大主豪等稱して 東用大獎勵の折柄大の為め除 の一般一戸一大主豪等稱して 東川大獎勵の折柄大の為め除

か には絶勤に従順でありながら 見馴れぬ人、怪しい人には映 り本能とするものであります り本能とするものであります サ大や臆病な犬は稍もすれば 吸みつきたがるので有ります 以上の如く目下新京に於てば 以上の如く目下新京に於てば 以上の如く目下新京に於てば は大病不案内の為め、一は折 以上の如く目下新京に於てば は大病不案内の為め、一は折

害も相席がある

の紙上見學

(三)

させると味や芳香が大

と 関係は先づ大に咬れたら断然 す (若し生きた儘運れられぬ時 は 正大が否かの鑑定を受る事では 正大が否かの鑑定を受る事では 正大が否かの鑑定を受る事では 正大が高い事です)早速人間の病にを持つた犬で有つた場 の論の事です)早速人間の病に走り毎日一回宛然合十八日間乗防注射を受 は (其の大になめられた人も ける事が肝要で有ります、而 ける事が肝要で有ります、而

江口夜詩作曲

して此の唆まれた人の十八回して此のな事は出来ないと云ふり止める事は出来ないと云ふ他に殆ど類の少い厄介な恐に他に殆ど類の少い厄介な恐に しないらちに樹からと 工で着色するので、 や 想に入れ、 其の中央に けた線香を置いて蓋かけた線香を置いて蓋かけた線香を置いて蓋を で果皮は黄色になり

端人愛國の歌 婦人愛國の歌 瀬戸口藤吉作曲 江口夜詩編曲

芳香を放つや、 のです、大量の場合は れずに窒を設け 賣られた花嫁 スメタテ作曲

・ま この地下に室を設けて線香の の差です、台灣から内地に持 の差です、台灣から内地に持 の差です、台灣から内地に持 の差です、台灣から内地に持 が、ナナです、これは一方 長い輸送にも耐えますし、内 地に荷揚げしてから、此の自 四、諸唱曲

八、五五(東京)尺八 ス・告知

0 電像通報・ニュース・告知事項・閉日の番組事項・閉日の番組事項・別日の番組事項・別日の番組 た、三九 (東京)

猎

ふ

番

W

好長女京子(七月二十三 埠胡同四〇三,三號河田

居り、

機能を強化し得るのです。一

本語 (八月二十三日) 名 (八月二十三日) 名 (八月二十三日) 名 (八月二十三日) 名 (八月二十三日) 全 (八月二十三日) 全 (八月二十三日) 全 (八月二十三日) 全 (八月二十二日) 全 (八月二十三日) 全 (八月二十二日) 全 (八月二十三日) 全 (八月二十二日) 全 (八月二十二十二日) 全 (八月二十二十二日) 全 (八月二十二日) 全 (八月二十二十二日) 全 (八月二十二日) 全 (八月二十二日



(三月四日)

ちやん畜物賣出へ

橋谷農學博士監製馬越樂學博士創製

ウィタミンB複合體が缺乏すると

胃腸病に移行することになるのです。 陥り……筋力が弱く、 食事が進まず、 お腹が無力になり胃擴張或は胃下垂などに 便秘がち等々、 仕事に根氣が續かない 所謂慢性の

日本人に特に多い 吸吹するためにぜひ必要なヴィタミ 胃腸病や脚気にまで移行することになるのです。が弛緩して食慾不振、消化不良、便秘を起し、それが慢性が弛緩して食慾不振、消化不良、便秘を起し、それが慢性が強緩して食慾不振、消化不良、便秘を起し、それが慢性

制 酸劑や消化劑がこれらの對症療法として従來用ひら では、この機能を強化すべく不足したB複合體の補給を置るし、その機能を強化すべく不足したB複合體の補給を運生なのものです。それよりも働きの鈍つた胃腸の組織を更生なのものです。それよりも働きの鈍つた胃腸の組織を更生なのものです。それよりも働きの鈍つた胃腸の組織を更生ない。

エビオス錠はヴィタミンBの最高給源となつて富に麥酒酵母に含まれて居りますが、その製剤 このヴィタミンB複合體は自然物の中で最も豊 この錠劑を連用することにより、胃腸の

する

昨夜は私達の夢を破つて二 を このやうにして思ひ出した。このやうにして思ひ出されて私はどきつとした。このやうにして思ひ出した。このやうにして思ひ出した。このやうにして思ひ出した。このやうにして思ひ出した。このやうにして思ひ出した。このやうにして思ひ出した。このやうにして思ひ出した。それは梅溪鏡の解風をなしてゐる高く第えてゐる。それは梅溪鏡のだつた。私達の一行は藤

であつた。心言の妹は前たところで不注意に片脚たところで不注意に片脚たところで不注意に片脚たところで不注意に片脚たところで不注意に片脚たところで不注意に片脚たところでで、似女らが勝ぎ立てたので、学ばかからが勝ぎ立てたのではりあげたみんなも濡れいてそのではした。 西岸に荒いてそれなも濡れるものだと思へる

村料だけの作品 「東京の一悪襲記者の生活が描いてある、東る これには東京の一悪襲記者の生活が描いてある、東る には東京の一悪襲記者の生活が描いてある、東る 一名人が女給を班ます、それをボクサー上りのカフ 一名人が女給を班ます、それをボクサー上りのカフ 一名人が女給を班ます、それをボクサー上りのカフ 一部川潤「饗慧の柱」 「文婆」三月勢) 一部が裏といふのはどんな曰くのある言葉が知らぬが 高の柱といふのはどんな曰くのある言葉が知らぬが 高の柱といふのはどんな曰くのある言葉が知らぬが 高の柱といふのはどんな曰くのある言葉が知らぬが に斯うした生活もあると、それを書いで見せたなけ に斯うとか讀者を引き込む魅力などはない。『實話 この作の人物は何も智慧などを持つた人間ぢやな この作の人物は何も智慧などを持つた人間ぢやな にあるのだが、結局それだけのことで、文學へま 果はあるのだが、結局それだけのことで、文學でない。 このにか、結局それだけのことで、文學でない。 このにか、結局それだけのことで、文學でない。

(後人生あり。戀惑人生の秘論なり。戀惑

ほてらせながら澤山の郵便物 が何處かでふるまはれたのだ が何處かでふるまはれたのだ の良、緊蘇に血色の良い類を

流亡する

文群間

なる。そこには数される。 なる。そこには数される。 なる。そこには数される。 なる。そこには数される。 なる。そこには数される。 なる。そこには数される。 なる。そこには数される。 なる。そこには数される。

が寒風に力强く抵抗してた。今日は五日の夕暮れ、一切を水に流したで有いた。今日は五日の夕暮れ、風が舗道をなで街場とは線薬一つなく只滑

敗戰支那

0

記錄

一本の樟樹の下の腰しに來た 要の船し舟はけふばよう見え ない、そして渡るのに使つた ない、そして渡るのに使つた ない、そして渡るのに使つた

中野政行書)

間の内に別人のやうに變り果んじりともせず机に向つて小設を減むともなくぼんやり机に向つて小説を減むともなくぼんやり机に高っなりともせず机に向って小りない。今日もま

思しば、
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は

ルギーに紹介するため近衛秀の偶像」の四篇の佛譯酸曲を選定送ることになり、これととになり、これとの偶像」の四篇の佛譯酸曲を コードも寄贈する事となつたが橋の花咲く頃」の四枚のレが木橋の花咲く頃」の四枚のレが上ス」松平紀氏の「月夜のワルツ」由利あけみ嬢の「

は、生まりにより、 は、生まりにより、 は、生ます。あの情らしい のではびき出したやうに偽手 概でおびき出したやうに偽手 にしたのですが単怯にも貴 にしたのですが単怯にも貴 にしたのですが単怯にも貴 でさんが、ひどいことをし たことを、私はそれを聞い たことを、私はそれを聞い たことを、私はそれを聞い たことをしから育 にしたの出來ない大畜生にも なのた湯上を心から情んで

としい音生なのです。私は 費男が忠告して下さつて以 来夢からさめた者のやらに 女として進む道をはつきり 知ることが出来ました。 知ることが出来ました。 なを誤解されるやらにした 単怯な湯上を一生死んでか 優しき 高男様 高男様 に夏枝の純情と負質が溢 いれてぬた。讃み終った嘉男 の嬉し泣きする姿が電燈の光 で壁にかすかにゆれてゐる。

をかけめぐるといいばかりにも

我身を包む柔 もあの事以

私は心秘かに貴男とお別れして東京へ立つて行きますと、 観維お許し下い、そした、 観維お許し下い、そした、 観維お許し下い、そした、 観 が からなるお能びを お受け下さい。 して東京へ・ はは心穏かっ に打克つて2 に打克つて3 貴男の夏枝より

努力する嘉男の雄々しい の狂熱的な讀書、研究が の狂熱的な讀書、研究が

さも嬉しげに学迄が相好崩し でお芽出度うと云つてゐる。 を一人々々思ひ浮べてみた。 年賀妖の中に一涌目立つてピ シク色の封書が混じつてゐた。 何氣なく裏を返してみた嘉男 の額は突然眞蒼に血の氣が失 せた。手紙を持つてゐる手は せた。手紙を持つてゐる手は と心、讀むともなく無残に二 と心、讀むともなく無残に二 大

格に在りながら異る。なき精 としてこの長途の跋渉を開始 とれ遠流亡者をして幽暗情

をボラルラサッサッと瓦に跳れ躍る甚だ騒がしい。 だがこの急に踏かしい気持 水せた。だがこの急に踏 水でまた敗まつた電の後 水でまた敗まつた電の後 水でまたりまった電の後

これまで浮橋といふものを見たことがなかつだ、それにこれなお粗末な浮橋といふのは、それに見たことがなかつた、それを見たことがなかつた。張大瞬はざるを得なかつた。張大瞬は

折した阡陌の間、濃い霜が恰大國の引率にしたがつて、曲

時し、まさに西に向つて進む をいたゝめ額にはいつばい汗の珠が浮いてゐるが、まだ少し膚寒さを感ずる。張大哥た もは行李を撥ひ、絶え寺左肩 たは行李を撥ひ、絶え寺左肩 たは行李を撥ひ、絶え寺左肩 たれは彈力性に富んでゐて一 上一下恰かも勝翼のやらに揺 の音服の音と調子を合せてゐる

た。急いで た。急いで も判らなか を たら してるたら してるたら



産業院子と 別送設 職業に スタット 産業び タイラ 年 頃が 後でれ 第7 単、第7

電話用二五 無著大阪四五八日電話用本橋二三届梯東京大〇八日本橋に選長場橋新一二日 .65 1.00 2.00 3.00 5.00

價藥

養賣元京城西大門入口 (大自) 「大門人口 (大自) 「大門人口 (大自) 「大門人口 (大自) 「大門人口 (大自) 「大門人口 (大自)

してくつすりと熟睡されます。
を加行をよくして湿たかにするので凍気で外部から温ためるのと異ひ、のん類で外部から温ためるのと異ひ、のん類で外部から温ためるのと異ひ、のんりでは、その效力の根本が、ヨモギの葉や厚

Marie Commence of the Commence

る至にるす博を贈名に界楽器の界世全や今

ロタ

最

新

强

全治確實!!

院で需要激増しつくあり 用なく重症でも短時 日で拭ふたやうに治 った方が多いから輕 症なら一週間で觀面 往射より安全で卓効ある フロター 殺. 淨血排毒 菌賦活 の御服用

切。

出前

迅速 10

が、ちる すべん したのうな 李

通条

ツラ

ク運搬

治

引

電運

送

店に有り 率天城內營樂所鐘樓北路東海外大學御推獎 (一德製) 的洋行率天株式會社 (一德製) 的洋行率天株式會社 (一德製) 的洋行率 大大學 個推獎



18-12A

聯品直輸入株式會社 樂品直輸入株式會社

叮。

をお奬めす

永 京 二五二回電 婦 胃 火 病 病 蓄結 膿族 症病

一〇八四本願寺 羅斯 皮肛膚病



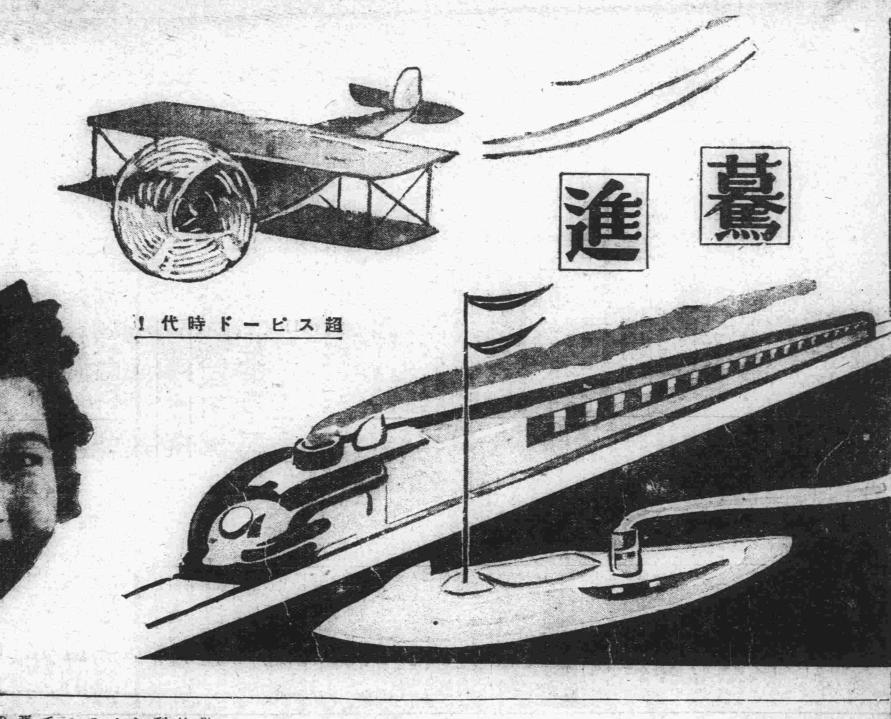
新原梅ケ枝町二丁 熟意天 文 平 平 目(ダイ 3 Ex Et 支店

御支度は 是非當院へ ダイヤ 力巧衣婚 老松美粧 街通(老松ピル二階 て居ます 電③六三 九烷

最

ダイヤ街(永樂町)

四、100 回、100 回、1



(日 施 土)

油鰤すると に大別することが出來る 多力 恐るべ き膀胱炎、睾丸炎、 その症徴に依り之を急性、慢性、炎、睾丸炎、尿道閉塞等々に悪化 傳染する生殖器病で

この時 れの不快な痛さを感ずる、 やうな痛みを感じ、頻りに尿意を催し尿量減じ云 は威染後間もなく は菌がまだ深部に浸入せず尿道の表面にのみ繁 發病し放尿の際局部の先に焼け 時には肛門都迄疼痛を

る候であ

る面して数けで

病毒蔓延し慢性に變る

々血が混じる事もある腰の量は體質に依り多い時と少 ある。急性から慢性に變化せる場合にも同様にて、間 時ごあるが要するに歯が尿道の深部に浸入せる場合 膿が出て膀胱に近き處に脚が疼痛を感ずるのみで は威染後一週間位で發生し左程の痛みもなく局部

どが 依り來る事が多い、膿量も多く急性慢性を兼ねた激痛 と感じ腰に血が混り或 多いが菌を改々深部へ押や 際にのみ少量出る故氣附かずに敷遇を經過するこ 慢性の場合は除り痛みを感せず、時には膿も朝起 この徴候は最も恐るべき疾患で、體質或は菌の性 り又は養生の不注意、 注意が肝要であ 3 は血の固まりが出る事さへある り悪化するのであるか 衆治療法の不合理等に

治

を起し 烈さと云ひ他に類例がない、故に敷時間にして尿道に炎症 ある 粘膜に喰ひ込み根を張り猛烈に繁殖するのである。その強 淋園はゴノ 靡爛して膿が出るやうになり血まで流れ出ることも ケ ン菌ご云ふ線粒狀菌で感染すると直ちに

張り込む性質なるが故に外部菌の勢力よりも内部の根張り この症徴が尿道の前部から後部へと漸次深部へ入るのであ し、慢性に變はるのを見ても明かである。 のみならず根を 而もその期間が甚だ短かいのは威染養病後四五日にし

> 結局療治原理は 故に外部的療法では歯を内部へ追ひ込む恐れがあるのみる

ことが出來る 人體の血液内には自然的に殺菌の出來る白血球が

H.

邀腺炎、關節炎。子宮內膜炎、帶下症、喇叭管炎、

卵巢炎等にも偉効を奏する。

悪化するのである を長引かせ益々菌の抵抗力を増すやうになり病狀が を痛めることになるから却つて害毒を及ぼし、治療 を強すことが出來ないのみか、却つて軟弱なる粘膜 樂が胃傷より吸收されたるものにあらざれば、炎症

性的に生理的に障害を來し、喩ひ淋毒が治つたにし生殖器病なるが故に投樂上療治上特に注意せざれば

要するに殺菌力ある薬品が都合よく胃腸に障害を與 理に合致せざることになるのである やうになる、理想的内服薬にあらざれば上述の諸原 てもそれ以上に全身に悪影響を及ぼす事が甚だ多い へずして吸收され生理的に膀胱を經て局部へ達する

理想的治淋最高級新藥 D

一、殺菌力最も强大且急速なる為め短時間に於て淋漓が

クロヘ

の特長

淋菌は根を深く張込む性質なるが故に内部から之れ 勢力が强き時はこれに負けて化膿するのである、故 を撲滅するに非らざれば必らず再發することになる にその力を少しでも助けさいすれば無難に根絶する つて常にその侵入を防禦するのであるが、若し菌の

即ち一旦感染した菌も合理的に體内に吸收された樂 に出逢へば忽ち死滅するやうになるのである

をする事になり根治が出來ない とにいり、殊に治療期間中の攝生困難なだめ根負け 緩慢なる治療では歯の加速度的繁殖に立ち遅れるこ

世間にありふれた注入樂とか洗滌樂とか道療法とか ける例が少なくない、斯る不合理な似て非なる治療 病勢を悪化させ淋毒を蔓延せしめ非常な苦しみを受 は有害無駄である 注射とか等は治療が長引き或は菌を深部へ追ひ込み

樂 普通用加高四层性用 特製 拾五圓 Æ 九 圓圓

鮮滿總發賣元神崎神 京城府 四

各地支社、代理店

特約店募集

規定書郵送す

門通 (大白 垩

資本金百萬 聖堂藥品 包括光化門 一〇七七番 長三三四番 直輸 入株式會社 私書劇西大門第四五號 振替京城四九五〇番

こ、從つて服藥期間が短かくて濟み一週間で効類が現は 全滅する性能を備えて居る

二、絶對的に胃腸を害せす又副作用絶無、吸收力に富む

六、利尿力强き為め排尿機能を整え不快威を除くる 四、深部に浸透する性能を有する故根こそぎ病菌を撲滅 以上の諸性能は淋毒に起因する膀胱炎、睾丸炎、攝 生理的に内部より思部の收飲作用を爲し粘膜を蘇生 せしむ。從つて服藥後間もなく疼痛を減する。 し再發の慮なし。

○クロベルは一週間分が五側である、割合に高價であるが 病勢を悪化させ苦痛を増すのみで恐るべきことである 畑悪な廉價な薬品は却つて高いものになるのみならず。 治療に間違ない薬なれば五圓は決して高いのではない。 第一でされてゐる 一週間で断然効力ある最合理的責任理想新聞クロベルが (興便な經濟的な治療は内服奬クロベルに限る)

と、禮狀山積の最良劑である に向ひ、一週間にて断然奏効すること、他に類例を見す 責任調劑につき如何なる責任も負ふ服藥二日以内に快力

各有名樂店にあり品切の時は本社へ(即日福建す)

が 第京山吹町三丁目岩坂杢三郎 放擲し砂後軍事に捧げてゐる

光榮に感激して左の如く語つり表彰された岩坂杢三郎氏は

「興して表彰近く新京に於て の紀元節に際し軍事功勢者と して感謝状、木杯、功勢徽章を して感謝状、木杯、功勢徽章を

表だ正式に何等の通知には を致したいと思うに除っ光榮で を対して表彰の恩典に浴す を対して表彰の恩典に浴す を対して表彰の恩典に浴す を対して表彰の恩典に浴す を対しるのは、事質とすれ、 を発しませんが、事質とすれ、 を対して表彰の恩典に浴す を記しませんが、事質とすれ、 を記して表彰の恩典に浴す

を要望して来た、然る お百萬圏の財簀を鳥 した、國都の火災は選 した、國都の火災は選 した、國都の火災は選

一告げる春先は火に對して無關 心となり従つて不注意は不虚 の火災を惹起するのである、 火に親しむ季節も後一ケ月こ の火災季節に秧別する時に當 つて最終を飾るべく火災を起 さぬやり火に對し一段の響戒

内親

萬歳を唱

満織の

お雛祭賑ふ

していただきたい」とやつたところ名論線出マ先づ楽厚さんが「滿語の放送に講演がだい、みんながみんな教が図はい、みんながみんな教が図はない、みんながみんながならも面白くない、みんながまふ、見そつまらんな風な序論ばかりで話が済んぢまふ、見そつまらんです」と鋭い批判マ次には藤山一上と鋭い批判マ次には藤山一かからも忠言や照日がドウドラ出るので山田主任これはつまらんことを言ひ出したといまらんことを言ひ出したといままりの態です。以後大いに減を付け

-Li

補鐵の金卸廢

た、ステーデは内裏機を担告場連缴俱樂部で開催まつりは三日午後六時半まつりは三日午後六時半まのお

っれしそうしたり様でにだいり様で

右近橋、左近の櫻や駒

酒は天下の経酒、白雪、松竹

若菜以

割

烹

常店自慢の大奉仕品

食

はあ

6番州閥の元春節(舊)

氣き失け るの る。 温ふ無の

四五

0

告

0

用

は

西の風晴一

周島の使用を側限しやうと補助約二萬二千間となつてゐる

護の彼方に消えず

と 当初限使用の 駒に輝く金

卸。これに要する經費は年平四萬の現場諸員の駒に輝く金

ところ、今夏の夏服には大部 分不足となつたので感よ金釦 を腹し緑茶色練平釦に替へる

シャートキン両君の食見」

ファ

と脈けつけたシ

岩坂杢三郎氏に

重なる名譽

地域の の際受けた負傷の身を白衣に の際受けた負傷の身を白衣に 包み懸ろに軟傷の敵兵をいた わる日本軍看護兵に介抱され 三日午後一時二十分哈爾濱よ の特急あじあで教京に到着、 重要を新家陸軍病院から出

兩山師本

印鑑

定

會

すから公會堂で

陸軍より表彰さる

る郷軍の一人であるが、今ま た陸軍より表彰されたことは 日本全國稀に見るところであ り各方面の質讃をあつめてゐ

身に餘る光榮

案外の火事沙汰

ブさよなら、時期に

特に注意肝要!

る人々に光明の途を数へ科學 る人々に真の精神的安定を奥 る人々に真の精神的安定を奥 を大意悲嘆のどん底に苦しめ

看護婦通の心からなる介抱に クランクと我が子の様にいたわる從軍 振向ける

たどりつくある現況を はてとらはれてゐるた は大衆から離れ衰微の たどりつくある現況を

協智の中堅東京上野大観営山本著仙及び東京観相兇館長橋本著仙及び東京観相兇館長橋李で着京直ちに大都ホテルに攻宿、五日より一週間本社後にて新京記念公會堂に於て

岩坂氏語る

嘆し、嚢に張弦峰事件で脱納り関境で捕虜となつたり

デス滿したシャモフ、デシャートキン両君と喜びの握手聯兵が吾が方の日本軍將士と同様の手厚い看護を受け在

眺めて感謝驚

日人

八女子給仕募集

江

看護に

る捕虜者きツ

念

の侍從長は恭々しくこれを探して、 ・東京國通」天皇陛下には萬 に一事京國通」天皇陛下には萬 に一世のは、 に一世のので、 に一世ので、 に一一ので、 に一ので、 に一ので 三日行はせらる

親王服下が御誕生遊はされ郷榮え御目出度く御健かに東京國通】戦勝の春皇室 官の参内相つぐ

宮内大臣宛左の如き御祝電を生の公電に接し三日午前松平張國務總理は內親王殿下御誕

星野長官御元電 野總務長官は内親王殿下御 解離の公電に接し三日午前松 平宮内大臣宛左の御戒電を設 大院裏王殿下御際職あらせら る、竹の園生の御菜を で大濃を伺ひ率る 大機を伺ひ率る 満洲國總務長官 職別國總務長官 惠

p

4

告

示

第

-

昭

率塩せるへら 自

は三日午後三時中ごみ 一電陽ビル三階鹿谷耳県 一でなったので中央通響に たなったので中央通響に 捜査中である

たシャモフとデ

大なで展ふ、その中心が十五日の夜で「元智節」といつて正月中で一番展かな観節で子供たちは龍燈展がな観節で子供たちは龍燈を一つた器を「滋籠」といつて西月中で一番を「滋籠」といつて起籍をつけて墓参する風習がある、これを「滋籠」といつてある、十七日「落と「滋徳」といつてある、これを「滋徳」といつてある、これを「滋徳」といつてある。これを「滋徳」といつてある。

「轉車 盗難 市内吉野 一種のであった自動車を 一種のであった自動車を 一種のであった自動車を 一種のであった自動車を 一台であった自動車を であった自動車を であった自動車を であった自動車を であった自動車を であった自動車を のであった自動車を のであった。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 を聞いて鰥



航空郵便物の 東東回數增加 東東回數增加 東東回數增加 東東回數增加 本可能な事情にあるので、之が取扱 をは至日一番機に間にあるので郵政 は翌日一番機に間にあるので郵政 では翌日一番機に間にあるので郵政 では翌日一番機に間にあるので郵政 をはかつてゐるが、早急に改正は 不可能な事情にあるので郵政 を対したもの は翌日一番機に間にあふやう

その上継もが親切なんだ」 をコーフの眼は希望に充ちたはられしい」と不自由な足の 痛さも忘れて歩み寄りシャー モフの手をしつかと握りしめ とで同じ境遇の三君は しばし草感こもくへの感に打 死傷者十二

四車衛

岩眼濡らす威涙

張鼓峰脱走の兩兵士ご邂逅

今更ら呪ふ赤軍暴狀

御面北南京

電の方は左記へ本人御来談下さい 電の方は左記へ本人御来談下さい 事方吉野町四丁目五 事人屋旅館方

後三時まで

電森方

V

(の) 二四四七番

新聞通信記者の質問に對しての如何して越境したのだ」との如何して越境したのだ」との

新元清 新元清氏は四日正午新京 の甘粕正清氏は四日正午新京 で大連に向ふ雅定







婦羅,壽 品 料



司理、鍋 圓

0 女店員募集

0

右御希望の方は履歴書携帶左記へ御申込み下さ 年齢十七歳より二十五歳まで(日人展会)

新京特別市職業紹介所 爾(紀)三九五 0

山 百 貨店人事部 (m) # 0 !

三書三三〇〇帯への

公公

電話

和 + 四 本特命全權大使 年三月 日

園域は左の區分に依る ・國領事官の主管したる兵事及戸籍事務は衝今本 ・國領事官の主管したる兵事及戸籍局受理證明書の發給 ・國領事官の主管したる兵事及戸籍事務は衝今本 ・國領事官の主管したる兵事及戸籍事務は衝今本 ロより奉天及牡丹 吉

大使館直轄 奉天分駐所 通遼縣、庫倫縣の内省、興安南省の内 同後旗、札齊 興安北省、興 東安北省、興 内科爾沁左翼旗, 以安東省、錦州省、 內濱 科江 爾省、沁 **龍江省、** 同前旗、同 與安東省、 同後旗、

一、年齢十五歳以上二十三歳以下の 高等小學校卒業程披の學力を有 する者 一、勤務箇所總行並中銀俱樂部 右希望者は三月七日迄に自肇履應書持参(寫眞添付) 當課へ出頭相威度 分驻所牡丹江省、 三江省、 健康診 看護婦見習 間鳥省 募 集

京 BÚ 電話(III) 六七七番

◇鰻かば焼ご丼判 | 一下日 | 食道樂

靑 **製語③二九四二番**

そして、雨の山道を、ピチャく と、草鞋を踏みしめながら、やつて来ものが、ちゃがら、やつれでものが、ちゃがら、中の上漢られて只フラくと

道中であった。 ところが、この時、まだ軍 であった。

『えいッ』 『えいッ』 で、したトか融つたから堪らない。下役の體は、もんどり 打つて、傍らの崖を、淡流へ

た下役の一人が。

旣

質的を問けず軽変します

大利通四六ノニ

殊に、朝からの思い空模様が、山にかゝると、たらく が、山にかゝると、たらく が、山にかゝると、たらく 煙のやらに立こめたり、其の時 煙のやらに立こめたり、其の時 が、お樹立を帶

こられる られ處空を摑んで、のぞけ反、何と 下役は、肩先梁く斬り下げ、バ 『うわッ』 と叫んで、軍 其の時 人が抜き討に斬りつけた。 下役は、肩先梁く斬り下げ

基所 経営者求む至急 西五馬路

三友社

電話3三四二四

刷及帳薄

カンバン 大郷路一〇六 装 長 社

軍鷄破り

た。 編笠 た。

は、かなぐり棄ててしまつたは、かなぐり棄ててしまつた。 調は殺氣に青ざめてゐた。 不覺にも、警護の役人等はスッカリ油斸をして居つた。 を設けられながら、今までチットも気が付かなかつたのだ。 「怪しい奴。ソレッ!」と、追ひ迫つて來る軍平の姿に、

今辨慶整骨院 職務病院東正門前

(二百七十九)

岩

殿膝栗

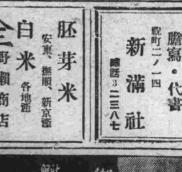
雨

之

日満タイピスト等院の西五三番

軍平は、軍鶏湯を目がけて 転寄つた。役人たちの刀が寄 らば斬らんと襟へられた。人 足たちは言ひ甲斐もなく穏を 電話金融 電話金融 変換に 金・金銀高質点 一般
変数を のででは、 のでする。 のです。 のです。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のでで。 のです。 のです。 のです。 のです。 のでです。 のでです。 のでです。 のでです。 のでです。 の

全野機商 安東、撫順、新京電 米 米各地蓝



D窓 DI







ドン (海中込下さい

電コーの八五

自疆會

人を求めたき者共に本合へ







輕便迅速

東省質業株式會社

住在所 新京特別市大同大街四〇六號 東拓ビル内 (電2四九一七)





サック 風化し易く用 物性の百貨店 電土町二ノー四 電土町二ノー四 をなさざる品

カメラ修理 乾寫眞機店



安中女給事務員ボーィ其他 男女職業紹介 京集日、鮮、滿人 京本省梅核川楠野ビル 関新紹介所電3六七〇九 関係、水道設備あり 大成組自動車部 電(32)一1日六二





新潟·直航 市門別北(月三回) 市川北(月三回) 市川北(月三回) 門北日本汽船 • Bにて連絡河し切 瀬銭主要牌並に 設計・時

た刀 奈見

乳もみ専門

電話 3 六七二七番 元

清水堂鍼灸院

氣便

多物大見切 豊質店 電報 三世七世 5 大阪商船出帆 神戶行 一割引、通用期間三ツ那船往復切符は復

> 目科業營 備

敷 疊 表

其他材料一

後

式表床

公益









七朝を占む

技

淌

自

慢

語の五三四六

壽唯一の

分の新

八

立食

新

京

7

Œ

確

ts.

信

用

出

8

店







粉末昆布茶 大石茶舗

目課業營 技術正確 **尚添人には通譯を要せず** 黛眞調製にも應ず 般測量 確 責任出願 石石山山 鑑分調測 及製圖 定拆查量 依ル正規製圖並出願手権 新京八島通四四 洲鑛業社 電話園③六四四七番 土方龜次郎

